



3. これまでも、これからも

家庭で育まれる力

あまりにも当たり前になっていてその大事さを忘れてしまうものは、世の中に数多く存在します。また、近すぎて見えないものも、日常の中ではその存在のありがたさを忘れがちです。家庭の大事さ、ありがたさは、これに当たります。

前段でもお伝えしてきましたが、「朝食を毎日食べる」「毎日同じくらいの時刻に寝る」「毎日同じくらいの時刻に起きる」ことなどは、一人暮らしを経験してみると、そんな当たり前のことの大変さが分かります。そのちょっとしたことを持続させることは難しいのですが、その少しのことが大きな意味を持っています。

家庭では人として当たり前であること ― いわゆる常識的なことを当たり前に指導しています。生活習慣に関することから生き方、心の持ち様まで、それを統合的に日々伝えています。その毎日の積み重ねが人として生きていくための力を養っていきます。

これらの力は一般的には自制心や忍耐力、折り合いをつける力ややり抜く力など、人が生きる上で大事な力、学力を積み重ねる土台の部分のこと指しますが、これを育成するために家庭で当たり前に大事にしてきたことが人格の形成に大きく影響します。

例えば、よいところをほめる、努力の大切さを伝える、感謝する大事さを教えるなど、家庭での行われている日常的な声掛けなどの関わりが数値化できない人間の力を育てていきます。そのような意味で家庭教育が及ぼす効果は非常に大きいと言えます。

寒川町では、平成 30 年 3 月に 0 歳から 15 歳までの家庭教育・家庭学習ハンドブック 14 を作成し、子どものいる全ての家庭に配布しています。この中で家庭教育で大事にしたいことについてまとめています。コミュニケーション能力を含め、学力を育む上で必要なことを、発達段階に合わせて示しています。

今一度各家庭でこの内容について確認し、学校に送り出していただく環境整備に加えて、自分自身で自分の人生を切り開くことのできる力を育成することが大切です。

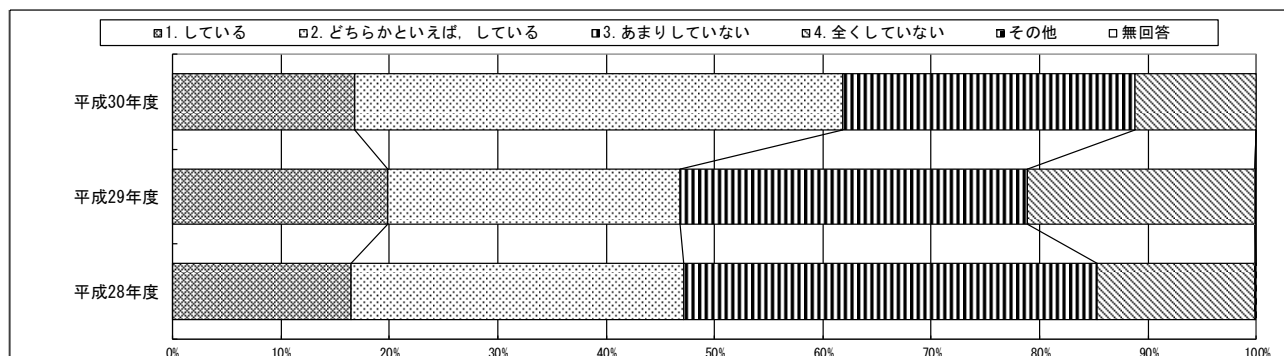
また、家庭教育とともに、家庭学習についても日常的に取り組んでいく必要があります。寒川町では「家庭学習の手引き」¹⁵を作成しています。この手引きについては平成 29 年度全国学力・学習状況調査結果分析から、具体的な学習内容とその学習方法についてまとめています。小学校は低・中・高学年、中学校は学年ごとに e ライブラリ¹⁶を活用した学習方法が載っています。

家庭学習の状況については平成 30 年度全国学力・学習状況調査の結果に表れています。

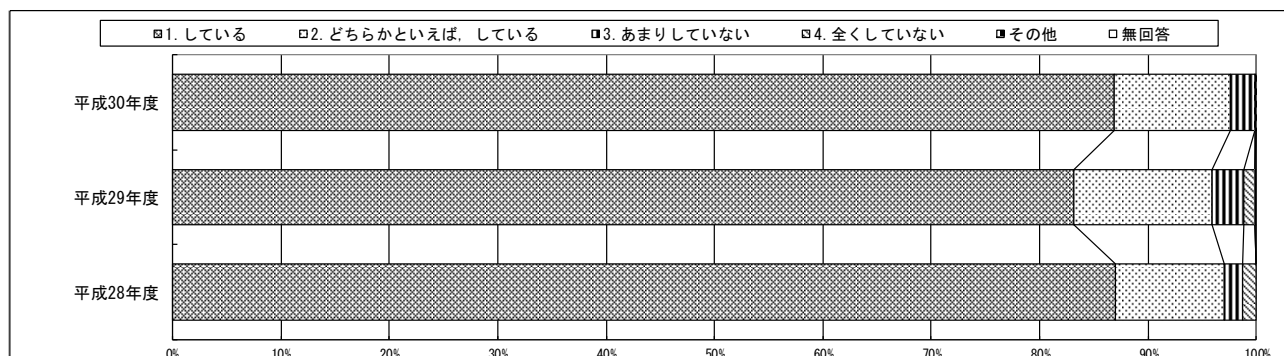


【小学校児童質問紙】

質問番号	質問事項									
(10)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	している (1+2)		その他	無回答
平成30年度	16.8	45.0	27.0	11.2			61.8		0.0	0.0
平成29年度	19.9	26.9	32.1	20.9			46.8		0.0	0.2
平成28年度	16.5	30.7	38.1	14.5			47.2		0.2	0.0



質問番号	質問事項									
(11)	家で、学校の宿題をしていますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	している (1+2)		その他	無回答
平成30年度	86.9	10.7	2.2	0.0			97.6		0.2	0.0
平成29年度	83.2	12.7	2.9	1.0			95.9		0.0	0.2
平成28年度	87.0	10.0	1.7	1.3			97.0		0.0	0.0



14「家庭教育ハンドブック」は寒川町のホームページよりダウンロードできます。①

(右 QR コード①)

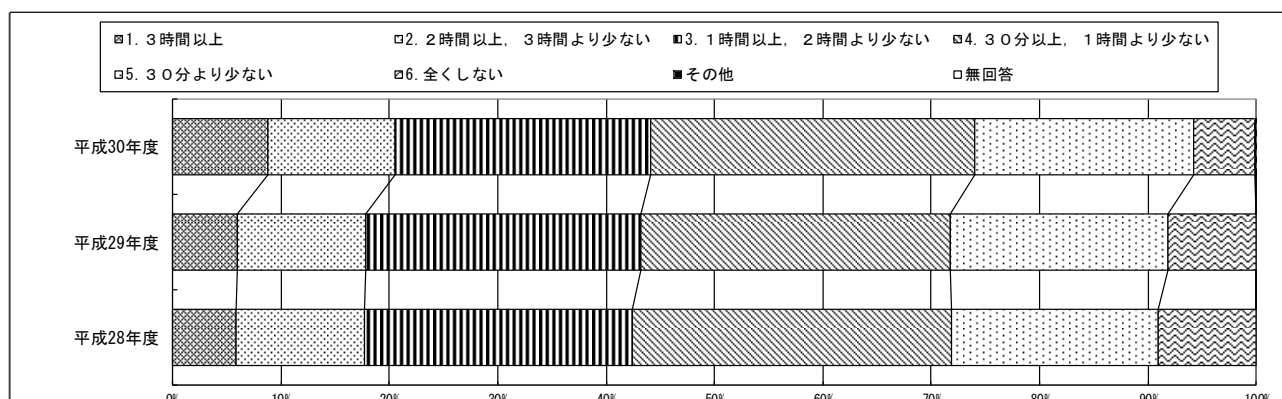
15「家庭学習の手引き」は寒川町のホームページよりダウンロードできます。

(右 QR コード②)

16「e ライブラリ」はインターネット型の学習コンテンツです。平成 27 年度より寒川町では全小・中学校に導入しており、町内小・中学校に通う全ての児童・生徒がパソコン、タブレット、スマートフォンにより無料で利用することができます。(インターネットの接続料については、各家庭のインターネットの環境によって異なります。)

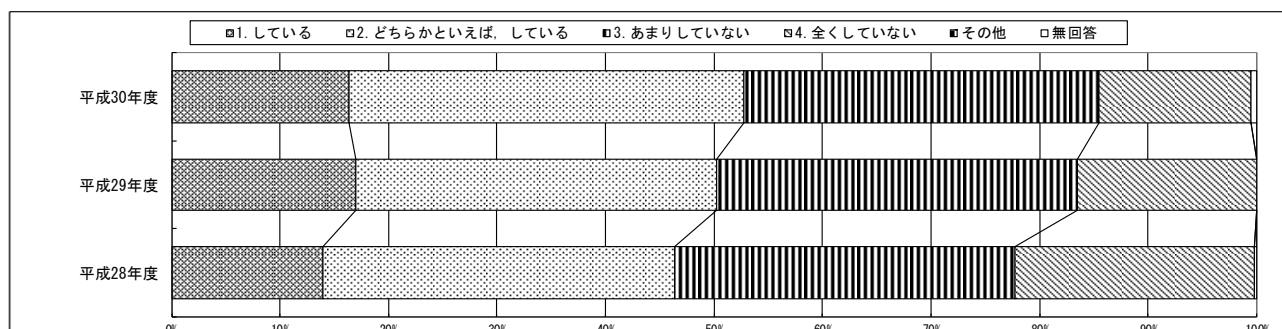


質問番号	質問事項										
(14)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか （学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	2H以上	1H以上	その他	無回答
平成30年度	8.8	11.7	23.6	29.9	20.2	5.6		20.5	44.1	0.2	0.0
平成29年度	6.0	11.8	25.4	28.5	20.1	8.2		17.8	43.2	0.0	0.0
平成28年度	5.8	11.9	24.7	29.4	19.0	9.1		17.7	42.4	0.0	0.0

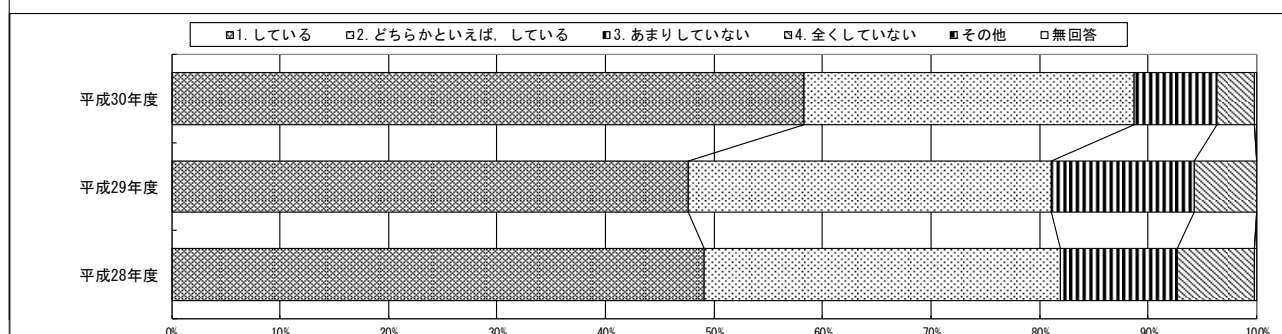


【中学校生徒質問紙】

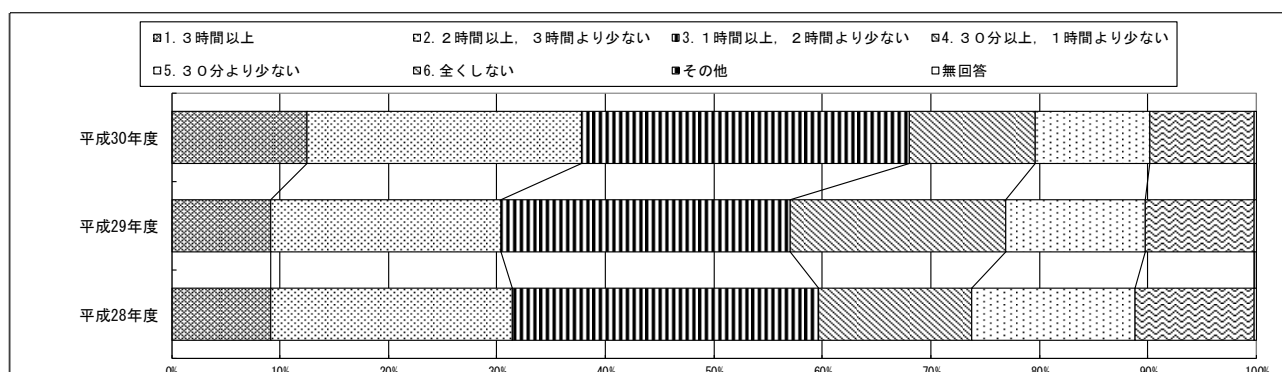
質問番号	質問事項										
(10)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	している (1+2)		その他	無回答
平成30年度	16.4	36.4	32.8	14.0				52.8		0.0	0.5
平成29年度	17.0	33.3	33.3	16.5				50.3		0.0	0.0
平成28年度	14.0	32.4	31.4	22.1				46.4		0.0	0.2



質問番号	質問事項										
(11)	家で、学校の宿題をしていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	している (1+2)		その他	無回答
平成30年度	58.3	30.4	7.7	3.4				88.7		0.0	0.2
平成29年度	47.6	33.5	13.2	5.7				81.1		0.0	0.0
平成28年度	49.0	32.8	10.8	7.1				81.8		0.0	0.2



質問番号	質問事項											
(14)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか （学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	2H以上	1H以上		その他	無回答
平成30年度	12.5	25.3	30.1	11.6	10.6	9.6		37.8	67.9		0.0	0.2
平成29年度	9.1	21.3	26.6	19.9	12.9	10.0		30.4	57.0		0.0	0.2
平成28年度	9.1	22.3	28.2	14.2	15.0	11.0		31.4	59.6		0.0	0.2



これまでに学校から帰宅した後の家庭での過ごし方について、自分で学習の時間を設定することが課題でしたが、本年度調査では、小学校・中学校とも計画的に家庭学習をしている児童・生徒が多く、それに伴って家庭学習の時間が増えています。また、中学校では宿題にしっかり取り組む生徒が多く、小学校から習慣になっている宿題について、継続して取り組んでいることが分かります。

当たり前のことがしっかりとできる、意識しなくても大事なことを育んでいることが、今年度の調査結果から見えました。特別に何かに取り組むことは、課題解決のために必要なことですが、普段の生活の中で無理をしては継続することはできません。

それぞれの家庭の頑張りは、外からは見えないかもしれませんが、確実にあるこの日々の取り組みを地域として理解し認めることが、そのよさを伸ばす後押しになります。

このような見方、関わり方が、教育の本質として大事にしていかななくてはならないことではないでしょうか。

学校で育まれる力

生まれたときのことを覚えていますか。それまでお母さんのお腹の中でお母さんを独り占めしていましたが、生まれた途端自分で呼吸をしなくてはならず苦しかったことを。泣いていると誰かがそっとタオルを巻いてくれて、手に何も触れなくて不安だった世界が少し自分のものになったことを。

自分を取り巻く世界はどんどん広がっていきます。幼児から小学生へ、小学生から中学生へ、そしてもう少し広い社会へと人は歩を進めていきます。その時々で培った力を持って自分の力で歩いていきます。¹⁷そして広くなるときには、誰かが橋渡しをしてくれます。そしていつか、自分自身の力で世界を広げていくようになります。

初めは何も自分でできなくても、誰かの助けを得ながら進んでいくことで人は成長をしていきます。そして助けてくれた誰かがくれた文化という名のバトンを持って、今度は自分が次の世代を育てていくのです。

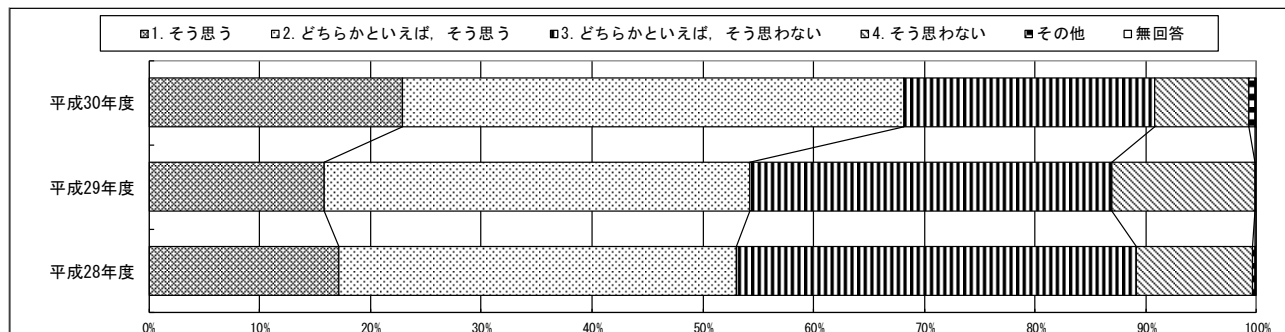
寒川町の各小・中学校では先生それぞれがよりよい授業を行っていくために授業研究を日常的に行っています。またその研究も学校内の文化として定着し、学校の教育力を培うことにつながっています。その研究を推進している中心の先生を集めて「さむかわ学びつ子育成事業研究推進委員会」を開き、各校の研究や全町的な課題について研究をしています。

17 【子供たち一人一人の豊かな学びを実現することの重要性】○学校は、今を生きる子供たちにとって、未来の社会に向けた準備段階としての場であると同時に、現実の社会との関わりの中で、毎日の生活を築き上げていく場でもある。学校そのものが、子供たちや教職員、保護者、地域の人々などから構成される一つの社会でもあり、子供たちは、こうした学校も含めた社会の中で、生まれ育った環境に関わらず、また、障害の有無に関わらず、様々な人と関わりながら学び、その学びを通じて、自分の存在が認められることや、自分の活動によって何かを変えたり、社会をよりよくしたりできることなどの実感を持つことができる。○そうした実感は、子供たちにとって、自分の活動が身近な地域や社会生活に影響を与えるという認識につながり、これを積み重ねていくことにより、主体的に学びに向かい、学んだことを人生や社会づくりに生かしていこうという意識や積極性につながっていく。○こうした学校での学びの質を高め、豊かなものとしていくことにより、子供たちは、学習内容を人生や社会の在り方と結びつけて深く理解したり、これからの時代に求められる資質・能力を身に付けたり、生涯にわたって能動的に学び続けたりすることができるようになる。全ての子供は、学ぶことを通じて、未来に向けて成長しようとする潜在的な力を持っている。教育を通じて、そうした潜在的な力を引き出し高めていくことができるよう、また、一人一人の教職員が教室や社会においてその力を発揮し活躍できるようにするために、学習指導要領等の在り方を検討していかなければならない。○子供たち一人一人は、多様な可能性を持った存在であり、多様な教育的ニーズを持っている。成熟社会において新たな価値を創造していくためには、一人一人が互いの異なる背景を尊重し、それぞれが多様な経験を重ねながら、様々な得意分野の能力を伸ばしていくことが、これまで以上に強く求められる。一方で、苦手な分野を克服しながら、社会で生きていくために必要となる力をバランス良く身に付けていけるようにすることも重要である。

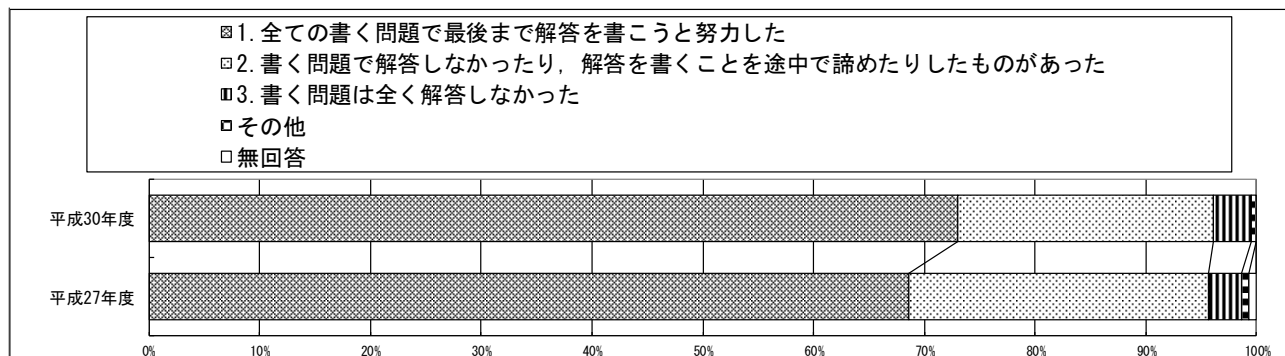
(次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ第1部3より抜粋)

【小学校児童質問紙】

質問番号	質問事項									
(57)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	思う (1+2)		その他	無回答
平成30年度	22.9	45.3	22.6	8.5			68.2		0.5	0.2
平成29年度	15.8	38.4	32.6	12.9			54.2		0.0	0.2
平成28年度	17.1	35.9	36.1	10.4			53.0		0.2	0.2

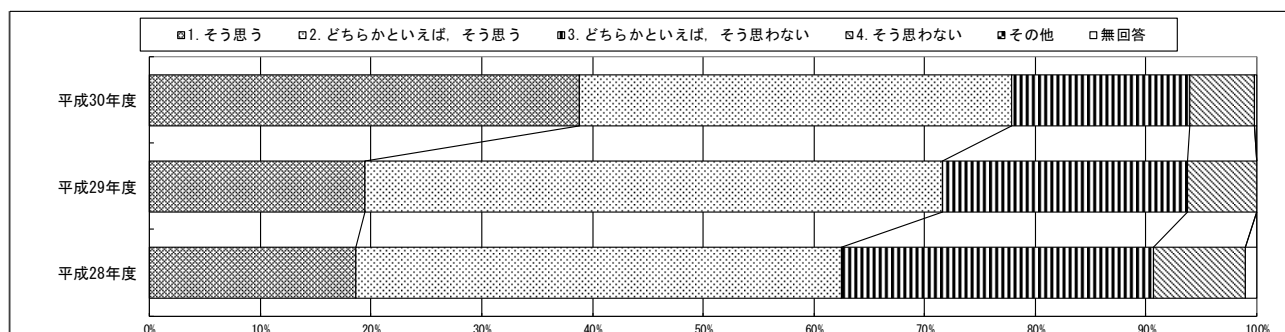


質問番号	質問事項										
(51)	今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
平成30年度	73.0	23.1	3.4							0.5	0.0
平成27年度	68.7	27.1	2.9							0.7	0.7

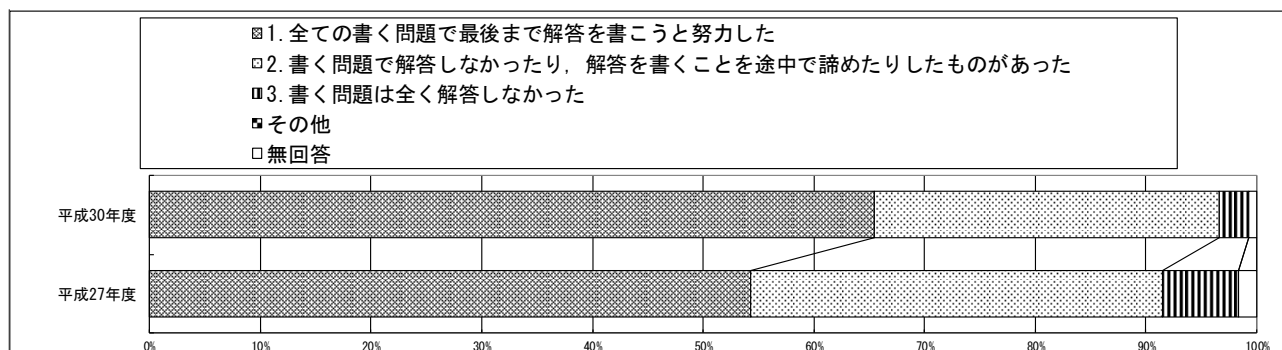


【中学校生徒質問紙】

質問番号	質問事項									
(54)	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	そう思う (1+2)	その他	無回答
平成30年度	38.8	39.0	16.1	5.8				77.8	0.0	0.2
平成29年度	19.4	52.2	22.2	6.2				71.6	0.0	0.0
平成28年度	18.6	43.9	28.2	8.3				62.5	0.0	1.0



質問番号	質問事項											
(51)	今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
平成30年度	65.5	31.1	2.7								0.0	0.7
平成27年度	54.3	37.2	6.9								0.0	1.6



その協議の中で中学校の先生から「ここ数年の新中学校 1 年生はしっかりと話し合いができる」という話がありました。「主体的・対話的で深い学び」の実現を意識して行ってきた各校の校内研究の成果が、学習の内容だけでなく小学校・中学校を見通した学習の形態にまで反映されていることを実感している様子でした。

前段でも示した結果ですが、授業で話し合うことを通して学習を深めていることが分かりますが、学習内容の定着とともに、学校でもコミュニケーション力ややり抜く力が育成されていることを確認できます。授業の中でただ話し合いを行っているというだけでなく、自ら学びに向かおうとしている姿勢についても、児童・生徒自身が他者との対話を通じて実感していることが分かります。

また、これらの学習活動を日々行うことができるのは、信頼関係によって作られた学習環境が学校だけでなく、その支えとして家庭・地域にあることが大きく影響しています。

先生は自分自身も文化というバトンを持ったランナーであると同時に、一緒に走っているランナーである児童・生徒を励まし、認め、導くコーチでもあります。この営みが本来目指すべき教育の在り方であり、本結果の概要の注釈にある学習指導要領の考え方と根は同じです。また、それを家庭・地域とともにやっていることも事実として存在します。

これまでに行ってきた実践に誇りを持ち、「書くこと」等の課題に正面から向き合い、子どもに、子どもを育てている全てのスタッフに恥じない本来の教育活動をするための大事さを、寒川町に住む児童・生徒や保護者の頑張りの結晶である本調査結果が示しています。

子どもの成長の橋渡しとともに、家庭・地域の橋渡しを、教育実践の研究を通して行うことが本来大事にしている教育活動を守っていくことにつながります。

寒川町教育委員会としましても、日常的な学校訪問を通して授業改善についての指導を行うとともに、よりよい授業を行うための ICT 機器等の学習環境整備を推進してまいります。

これまでの調査結果の分析のまとめとして、『確かな学力をつけるために「町全体で取り組んでいきませんか」』を次頁に編集しました。

確かな学力をつけるために 町全体で取り組んでいきませんか



◆ これまでの成果

- 「早寝・早起き・朝ご飯」など生活リズムを整える、宿題に取り組む、計画的に勉強の時間をとる 等学習に取り組む基盤を作っています。

◇ これからも取り組んでいきたいこと

- 「家庭学習の手引き」を参考に、それぞれの様子にあった学習への声かけを。→eライブラリの活用
- 「家庭教育ハンドブック」を参考に、それぞれの時期に合った温かな関わりを。

*「家庭学習の手引き」「家庭教育ハンドブック」は下のURLからダウンロードできます。

家庭で

学力はよりよく生きるために必要な力です。

これまでも家庭、学校、地域で子どもと良い関わりをしてきました。

これからも町全体で子どものよりよい成長を後押ししていきます。

学校で

◆ これまでの成果

- 各校での研究により授業改善の成果が出ている
小学校：話し合い活動の充実
→ 話す・聞く力の育成
中学校：今求められる学力を意識した授業の充実
→ 課題に取り組む力の育成

◇ これからも取り組んでいきたいこと

- 「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業実践と研究を推進していきます。
- 自分の考えを書くことを意識した指導を徹底していきます。
- 児童・生徒との信頼関係を構築して人的な学習環境を整備していきます。

地域で

□ 教育委員会として

- 各校の授業研究の推進のため指導主事が中心となって日常的な学校訪問を行い、授業の在り方などを学校とともに考えていきます。
- よりよい授業を行うためのICT機器等の学習環境の整備を推進していきます。
- 家庭学習を推進していくため、eライブラリの活用方法を「家庭学習の手引き」にまとめ、内容について周知を図っていきます。

子どものよりよい成長を願う思いは家庭でも、学校でも、地域でも同じです。どの子も安心して主体的に学習に取り組むことができる学びに向かう力を町全体で育てていきませんか。

◆ これまでの成果

- 「地域のせんせい」では協力者による授業支援や補助が充実しています。
- 見守り等の活動を通して、地域での児童・生徒の様子を共有しています。

◇ これからも取り組んでいきたいこと

- 学校や家庭で取り組んでいることについて共有していただき、今できていることの良さを伸ばすように後押しをお願いします。

☆内容の詳細については、平成30年度全国・学力学習状況調査 寒川町調査結果の分析をご覧ください。

① 調査結果・家庭学習の手引き <http://www.town.samukawa.kanagawa.jp/soshiki/kyoiku/gakkokyoiku/gakujishidou/info/shochugakko/zenkoku/>

② 家庭教育ハンドブック <http://www.town.samukawa.kanagawa.jp/soshiki/kyoiku/kyoikusomu/shakaikyoiku/info/kateikyoyuiku/>

